

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【公開番号】特開2019-38262(P2019-38262A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2018-159730(P2018-159730)

【国際特許分類】

B 3 1 F 5/04 (2006.01)

B 3 1 B 50/60 (2017.01)

【F I】

B 3 1 F 5/04

B 3 1 B 50/60

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月15日(2020.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a) 段ボールシートを該段ボールシートの一辺と平行な方向に搬送する搬送手段と、
- b) 前記搬送手段によって前後して搬送される2枚の段ボールシートの対向する端縁同士を接合する接合手段と、

を有することを特徴とする段ボールシート接合装置。

【請求項2】

更に、

- c) 積み重ねられた枚葉状の前記段ボールシートを一枚ずつ前記搬送手段に供給する給紙手段、

を有することを特徴とする請求項1に記載の段ボールシート接合装置。

【請求項3】

更に、

- d) ジャバラ状に折り畳まれた前記段ボールシートの一端を引き出して前記搬送手段に供給する給紙手段、

を有することを特徴とする請求項1に記載の段ボールシート接合装置。

【請求項4】

更に、

- e) ロール状に巻かれた前記段ボールシートの一端を引き出して前記搬送手段に供給する給紙手段、

を有することを特徴とする請求項1に記載の段ボールシート接合装置。

【請求項5】

更に、

- f) 前記接合手段によって接合された前記段ボールシートに、一定の間隔で、前記搬送手段による搬送方向と直交する折畳を付与する折畳付与手段、

を有することを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の段ボールシート接合装置。

【請求項6】

請求項1～5のいずれかに記載の段ボールシート接合装置によって複数の段ボールシ-

トを接合することにより連続段ボールシートを製造する方法であって、

前記搬送手段によって搬送される各段ボールシートの前端及び後端を、予め厚さ方向に押し潰すことによって糊代部を形成しておき、

前記接合手段において、前記2枚の段ボールシートのうちの前側の段ボールシートの後端に設けられた前記糊代部と、後側の段ボールシートの前端に設けられた前記糊代部とを重ね合わせて接合することを特徴とする連続段ボールシートの製造方法。

【請求項7】

請求項1～5のいずれかに記載の段ボールシート接合装置によって複数の段ボールシートを接合することにより連続段ボールシートを製造する方法であって、

前記搬送手段によって搬送される各段ボールシートの前端及び後端に、段ボールシートを構成する2枚のライナーと1枚の波板のうち、1枚のライナー又は1枚のライナー及び波板が欠けた糊代部を設けておき、

前記接合手段において、前記2枚の段ボールシートのうちの前側の段ボールシートの後端に設けられた前記糊代部と、後側の段ボールシートの前端に設けられた前記糊代部とを重ね合わせて接合することを特徴とする連続段ボールシートの製造方法。

【請求項8】

一列に配列され、互いの端縁同士が接合された複数の段ボールシートから成る、連続段ボールシート。

【請求項9】

前記互いの端縁が重ね合わされて接合されており、該端縁において前記複数の段ボールシートの各々が厚さ方向に押し潰されていることを特徴とする請求項8に記載の連続段ボールシート。

【請求項10】

前記互いの端縁が重ね合わされて接合されており、前記複数の段ボールシートの各々が、前記端縁において、各段ボールシートを構成する2枚のライナーと1枚の波板のうち、1枚のライナー又は1枚のライナー及び波板が欠けた領域を備えることを特徴とする請求項8に記載の連続段ボールシート。

【請求項11】

- a) 請求項1～5のいずれかに記載の段ボールシート接合装置と、
 - b) 該段ボールシート接合装置によって生成された連続段ボールシートを搬送する連続段ボールシート搬送手段と、
 - c) 該搬送手段による搬送方向と平行な方向及び直交する方向に沿って前記連続段ボールシートに切り込みを入れることにより、該連続段ボールシートから段ボールブランクを切り出すブランク切り出し手段と、
- を備えることを特徴とする段ボールブランク製造装置。

【請求項12】

波板の一方の面に、該波板の波目と平行な方向である幅方向の寸法が前記波板よりも小さい第1のライナーを、該波板の前記幅方向の一方の辺と該第1ライナーの前記幅方向の一方の辺とを揃えた状態で貼り付けることによって片面段ボールシートを生成する片段生成手段と、

前記片面段ボールシートに含まれる前記波板の他方の面に、前記幅方向の寸法が前記波板よりも小さい第2のライナーを、前記波板の前記幅方向の他方の辺と該第2のライナーの前記幅方向の一辺とを揃えた状態で貼り付けることによって両面段ボールシートを生成する両段生成手段と、

を備えることを特徴とする段ボールシート製造装置。

【請求項13】

同じ大きさの2枚の片面段ボールシートの波板同士を、該波板の波目を揃えた状態で、且つ、該波目と平行な方向にずらした状態又は波目と直交する方向にずらした状態で貼り付けることによって、両面段ボールシートを生成する両段生成手段

を備えることを特徴とする段ボールシート製造装置。